

鍛えたプロの技 人命救う

松山中央消防
飯田さん表彰

小学校で倒れた男性を救ったのは、偶然居合わせたプロたちだった。松山中央消防署は20日、迅速な応急手当で人命救助に貢献したとして、臨

床工学技士の飯田晉司さん(44)＝同市南江戸5丁目＝を表彰した。

署などによると、5月にあった新玉小学校(同市千舟町8丁目)の運動会で、70代の男性が体育館で倒れ心肺停止状態に陥った。体育館脇にいた飯田さんと妻で看護師の絵理さん(36)は、教員らの「助けてください」との声に駆けつけた。

絵理さんが呼びかけ、飯田さんも反応がなく、飯田

さんは胸骨圧迫を開始した。同じく駆けつけたPTA会長の小木曾新さん(40)と交代で連携し、救急隊が到着する前に男性の意識が戻った。

(AED)を使用。他の人も気道を確保した。119番したりと連携し、救急隊が到着する前に男性の意識が戻った。

飯田さんは、勤務する病院でAEDの点検を行うなど扱いに慣れていた。絵理さんは救急救置に関するインストラクター資格も保有。小木曾さんは市南消防署員だった。

20日は同市本町6丁目の市消防局で表彰式があり、中央消防署の井上隆二署長が「素早い対応、勇気ある行動で命が助かった」と感謝を述べた。男性は現在、普段通りの生活ができるまで回復したという。飯田さんは「無我夢中だった。身に付けた技術が役に立ちうれしい」と笑顔で振り返った。

(香川華代)



小学校の運動会で倒れた男性の救命に貢献した飯田さんと妻の絵理さん